



JTA、2024年「健康経営優良法人ホワイト500」に認定！

～2018年から7年連続の認定～

日本トランスオーシャン航空(JTA、本社:那覇市、社長 野口 望)は、本日(3月11日)、日本健康会議より、2024年の「健康経営優良法人ホワイト500」として認定を受けました。これは、2018年より7年連続の認定となります。

「健康経営」とは、社員の健康を大切にすることで、会社の成長力・活力を高める経営概念です。また、「健康経営優良法人制度」とは、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。

JTAでは、社員およびその家族の健康は、一人ひとりの生活の基盤であるとともに、会社にとってもかけがえのない「財産」と捉え、定期健康診断の100%受診はもちろんのこと、再検率の向上、就業時間内の禁煙の徹底、毎日のラジオ体操に取り組み、社員の健康増進に努めています。また内閣府沖縄総合事務局と健康経営に取り組む沖縄県内企業との取り組みである「おきなわ健康経営プラス1プロジェクト」における活動を実施し、企業間のコミュニケーション活性化を図り、健康経営の取り組みの相乗効果を目指しています。

JTAは社員の健康を支えることで、社員の活力向上や生産性の向上を図り、人としても企業としても地域社会のお役に立てる存在であり続けるための努力と挑戦を重ねてまいります。

以上



社内ラジオ体操風景



社内セミナー風景(ゴルフエクササイズ)